



## 第3回DIA再生医療製品・遺伝子治療用製品シンポジウム

～All Japanの再生医療開発と実用化 細胞と遺伝子～

2018年12月13日(木)～14日(金)  
KFCホール (両国)

DIA

### 第3回 DIA 再生医療製品・遺伝子治療用製品シンポジウムのご案内 (早期割引終了まで2週間！好評受付中！)

第3回を迎える本年は、細胞加工製品に加えて遺伝子治療用製品もメインテーマとし、開催期間も2日間に拡大しました。

基調講演では、京都大学 iPS 細胞研究所 高橋淳教授より商品化目前のiPS細胞による製品開発について、また、内閣府からは、遺伝子治療用製品を含む国の取り組みを今後の展望も含めてお話いただく予定です。

Day 1「細胞加工製品を取り巻く環境の進化」では、第1回、第2回シンポジウムの内容を踏襲し、細胞加工製品の品質や非臨床に加え、商業化への課題や市販後対策を網羅したトピックとし、日欧米三極の比較や規制における課題、レジストリの現状等、最新の知見の共有と議論を予定しています。

Day 2「遺伝子治療用製品の製造と開発をめぐる諸問題」では、教育セッションとして、国内での研究開発の現状とその課題を共有します。特に遺伝子治療の実用化や製品化に向けて戦略的な対応が必要となる生物多様性評価(カルタヘナ法)の運用に関する各国の比較と理解及び今後改善すべき点等に対するDeep Diveセッションは注目の企画です。

両日とも海外からのスピーカーを招聘して、グローバルにおける開発の現状と課題と商業化への動きについて議論する内容としております。

今回は、細胞加工製品と遺伝子治療用製品の開発について、興味あるセッションを各々単独でご参加いただけるプログラムとしておりますので、どちらか一方聴講されたい方も是非ご参加ください。なお、2日間を通してご参加いただくことで、この分野全体の方向性や細胞加工製品と遺伝子治療用製品の双方に共通する知識と課題についての学びがある企画としておりますので是非2日間を通してご参加いただければ幸いです。一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

[◆プログラム/申込書\(英日\)](#) [◆オンライン申込](#)